

平成 24 年 7 月 11 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 COO 古 川 令 治
(コード 3121 大証 2 部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 宮 毛 忠 相
(TEL 03-3502-4910)

株式会社アドメテックの株式取得に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社アドメテック（代表取締役社長 中住慎一）の株式を取得することを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 株式取得の理由

このたび、当社は、営業投資活動の一環として、株式会社アドメテック（以下「アドメテック」）の株式を取得することといたしました。

株式会社アドメテックは、がん細胞などの悪性腫瘍を治療する新しい技術の商用化を目指している愛媛大学発の医療ベンチャー企業です。

同社は、がん細胞は正常細胞よりも熱に弱いという特性に着目し、患部に針状の金属を複数刺し直接熱を加え、がん細胞を死滅させるための医療機器の研究・開発に取り組んでおります。現在、子宮頸がん治療の医療機器としての製品化を目指しておりますが、口腔がんや腎臓がんなどにも応用が可能としております。同社の製品が実用化されれば、外来や数日間の入院で治療が可能と見込んでおり、患部切除、抗がん剤投与や放射線照射といった従来治療と比較して、患者の体への負担が少ないことを特長としております。

同社の技術は、経済産業省の「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」の公募に、約 15 倍の競争率を勝ち抜いて採択され（注）1、現在ではがんに近い子宮頸部高度異形成（注）2 を対象とした第 II 相試験相当の医療機器探索的治験（注）3 を愛媛大学医学部附属病院産婦人科において開始しております。

また、すでに、ペット向け医療分野では実用化されており、アドメテックが開発した医療装置「AMTC200」は、累計出荷台数が 100 台を突破し、獣医学分野での普及が進んでおります。

今後、当社では、アドメテックの事業拡大、将来的には株式市場への新規上場を目指して、同社の経営管理や営業活動などの支援に取り組んでまいります。

（注）1. 経済産業省平成 23 年度「課題解決型医療機器の開発・改良に向けた病院・企業間の連携支援事業」実証事業において、181 件の応募に対して 12 件の実証事業が採択されました。アドメテックの事業は、研究開発計画名「治療の温度制御及び範囲制御が可能な新たな腫瘍の焼灼治療機器の開発」として、アドメテック、愛媛大学その他 3 団体共同で実証事業の指定を受けております。

（注）2. 子宮頸がんでは無いものの、正常細胞では無い変化した状態のことを「異形成」と呼び、将来癌（がん）になる可能性のある病変（前癌病変）です。

（注）3. 治験（ちけん）とは、医療機器の製造販売に関して、薬事法上の承認を得るために行われる臨床試験のことです。実用化までには、第 I 相から第 III 相までの試験があり、これらの成績をまとめ、医療機器の製造販売承認申請が行われ、規制当局（医薬品医療機器総合機構）による審査を受けて承認されると医療機器としての販売が可能となります。

2. 取得株式数および取得前後の所有株式の状況

- ① 取得前の所有株式数 —
- ② 取得株式数 6,000 株 (取得価額 6 千円)
- ③ 取得後の所有株式数 6,000 株 (所有割合 33.4%)

(注) 当社は、当社代表取締役社長古川令治からアドメテックの株式6,000株(発行済み株式の33.4%)を1株あたり1円で取得いたします。本件は当社と当社代表取締役との間の取引であり、関連当事者との取引に該当いたします。本件取得価額は、備忘価格での取引としておりますが、直近の売買事例や足元の同社業績の見通しなどに照らし、合理的な水準であるものと考えております。

3. 日程

平成24年7月11日 株式売買契約書締結

平成24年7月12日(予定) 株式取得

4. アドメテックの概要

① 名称	株式会社アドメテック	
② 所在地	愛媛県松山市文京町3 愛媛大学社会連携推進機構3階	
③ 事業内容	腫瘍の治療を目的とした医療機器の研究開発	
④ 資本金	168,892 千円	
⑤ 設立年月日	平成15年9月4日	
⑥ 代表者等の役職・氏名	代表取締役社長 中住 慎一 代表取締役 吉村 太一	
⑦ 従業員数 (平成24年3月末日現在)	3人	
⑧ 主要株主 (平成24年3月末日現在)	古川 令治 33.4% 投資事業有限責任組合えひめベンチャーファンド2004 13.6% 中住 慎一 7.8%	
⑨ 当社との関係等	資本関係	該当事項はありません
	人的関係	当社代表取締役社長古川令治及び当社従業員が同社取締役を兼務しております。
	取引関係	該当事項はありません
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません
⑩ 直近の財政状況 (平成24年3月期)	総資産	85,914 千円
	純資産	71,122 千円
⑪ 直近の業績 (平成24年3月期)	売上高	44,352 千円
	営業利益	△12,176 千円
	経常利益	△12,857 千円
	当期純利益	△69,723 千円

5. 今後の見通し

本件は取得価額が少額であり、また持分などに照らし当社の連結子会社とならない見込みであるため、当面の当社業績に与える影響は軽微であるものと考えております。

将来的に、当社業績に重要な影響を与える見込みが生じた場合は、別途開示させていただきます。

以上